

第5回向日市総合計画審議会会議 議事要点録

日 時	平成21年4月14日(火) 午後1時30分から午後3時20分まで
場 所	向日市役所3階 大会議室
出席委員	別添「第5回出席者名簿」参照のこと
欠席委員	3名
傍聴者	3名
内 容	下記のとおり

1 議 事

(1) 新総合計画・基本構想(第4次案)について

「資料 向日市新総合計画・基本構想(第4次案)」に基づき、事務局から説明があり、その後、意見交換が行われ、基本構想(第4次案)全体について審議された。

【意見の要旨】

ア、序論について

委 員：1ページ目の「策定の目的」について、経済・社会状況の変化や地方分権について触れた箇所に関して、もう少し文言を整理してはどうか。また、「自己決定・自己責任・自己負担」というフレーズについて、地方自治体の意思表示を表す文章としては違和感がある。

委 員：ここで言う「市民公益活動団体」とは何か。

事務局：市民の方が集まって地域活動やまちづくり活動など、公益的な活動を行っている団体を総称して使っている。簡単に「まちづくり団体」とも言い換えられるが、市では「向日市市民協働推進条例」において、市民協働の担い手の当事者として、この市民公益活動団体を掲げているので、この表現で一貫したい。どうしても、意味が分かりにくいということならば、注釈をつけるなどして対応したい。

副市長：市では、「向日市市民協働推進条例」に基づき、この4/2に市民協働センター「かけはし」をオープンした。今後、この場所から、公益的な目的で活動する団体～すなわち、これからのまちを良くしていこうとする団体を支援していきたいと考えている。従って、趣味などで活動されている団体とは一線を画するために、「市民公益活動団体」という表現

を使わせてもらっている。

委員：例えば、ボランティア団体など、よりわかりやすく具体的な表記にはどうか。

会長：前後の文章から見ても、特に誤解を与えるような表現とは思われないが、よりわかりやすいよう注釈をつけるなど工夫すれば良いと思う。

委員：3ページ目の「向日丘陵・西ノ岡」の記述について、向日丘陵と西ノ岡がイコールなのか、それとも向日丘陵のなかに西ノ岡が含まれるのか、あるいはその逆なのか、よくわからない。

委員：4ページ目に記述している「向日神社」などについて、例えば、観光写真コンテストなどで、市民の方が撮影された写真などを使ってみてはどうか。

委員：3～4ページ目の「向日市の歴史・自然資源」と5～6ページ目の「向日市の位置と自然特性」について、順番は逆の方が良いと思う。

会長：これまで出された意見等を踏まえて、事務局でもう一度文言等の検討を行っていただきたい。

イ、「将来都市像」について

委員：11ページ目の説明文について、3つめの段落が4行に渡っており、長くて読みづらい。もう少し分割できないか。

ウ、「土地利用構想」について

委員：14ページ目の都市軸について、主にJR向日町駅周辺から阪急東向日駅周辺までを設定されているが、私自身は「歩いていて最も危険なところ」というイメージしかない。これからどのように整備を図っていくのか。

副市長：こちらについては、京都府が平成23年度を目途に道路の拡幅改良を進めている。向日市は、府事業を積極的に支援するとともに、JR久々相アパートから南方面に抜ける道路整備を検討しており、用地買収も進めている。これらが完成すれば、都市軸にふさわしい様相に変わってくると思われる。

委員：14ページ中、「小さい」というフレーズが頻繁に使われており、「小さいから何もできない」と言ったマイナスの意味にも受け取れる。

委員：「小さい」という言葉にプラスもマイナスもない。我々に与えられたこの条件のなかで、どのように環境整備を行っていくかを表現すれば良いのではないか。

事務局：「小さい」という言葉はもちろんプラスのイメージで使っている。小さいからこそ、市域全体に手が届き、効果的・効率的にまちづくりに取り組めると表現したつもりだが、もう一度精査したい。

委員：歴史・文化・健康軸の「軸の機能」の説明について、「健康」について触れた箇所がないように思う。

会長：この軸というものについては、基本構想に基づき、市が重点的にまちづくり施策を投入していく地域のことだと理解しているが、もう少し表現に工夫が必要ではないかと考える。例えば、まちの将来都市像で「活力

とやすらぎ」と謳っているので、「活力」を実現するための軸はこれで、一方、「やすらぎ」に対応した軸はこの軸、といった見せ方ができないものかどうかを問題提起をしたい。

事務局：問題提起していただいた部分も含め、もう一度、事務局で精査したい。

委員：土地利用構想の目的のなかに、あえて競輪場「跡地」の活用といったものを入れられないか。

事務局：向日町競輪場については、現在、京都府の方で今後のあり方を検討されており、存廃も含めて、まだ結論がだされていない。従って、現段階で「跡地」という表記はできない。

(2) 新総合計画・前期基本計画(素案)の概要について

「資料 向日市新総合計画・前期基本計画(素案)の概要」に基づき、事務局から説明があり、その後、意見交換が行われた。

【意見の要旨】

会長：基本計画の40項目については、今後、増えていくのか

事務局：重点化すべき項目はメリハリをつけるために分けて、一方で類似するようなものはまとめてしまうなど、全体で調整を図りたい。

委員：基本計画の各項目名について、ニュアンスは伝わるが表現が安易ではないか。また、安心・安全の基本政策については、防災や防犯の取組をもっと強調した方が良い。

委員：項目名のつけ方に関しては、従来の役所言葉に比べると随分わかりやすく、こちらの方が良いと思うが。

委員：わかりやすい言葉で書かれていて良いとは思いますが、もっと推敲しないといけないという趣旨だ。

委員：この基本計画で、市の全事業を網羅しているのか。また、学校教育関係については「検討中」となっているが。

事務局：基本政策に基づき、今後5年間で重点的に取り組む内容をまとめているので、市の事業を全て網羅したものではない。また、検討中と表記したもののについては、まだ、担当課で重点的に取り組む事業がまとまっていないためである。

委員：今後5年間で何を重点的に取り組んでいくのかについて、市民アンケートの結果を活用するなど、もっと市役所庁内で検討していただきたい。その際、あれもこれも(事業を行う)ではなく、どんな事業をどこまで進めていくのか、市民にわかりやすく示すよう計画づくりを行うべきだと思う。

委員：5年間は長いようで相当短い。現在の第4次総合計画の進捗状況については説明を受けたが、未達成の項目もあったようだ。何が未達成なのかを踏まえて、これからの厳しい財政状況のなかで本当に実現できるものについて、もっと大胆に優先順位をつけて絞り込むべきではないか。

事務局：財政状況を見据えた計画づくりについては常に念頭に置いている。基本計画については重点化すべきだと思うが、5年間で完了できるものだけ

でなく、取組に着手できるものも載せるべきではないかという意見もいただいている。これらについては、庁内での検討はもちろん、今後の審議会のなかでも十分審議いただきたいと考えている。

2 次回審議会の日程調整について

今回は、5月22日（金）午後1時30分から市役所3階大会議室で開催予定。

以 上